

愛媛県政課題調査の結果（概要）

調査項目：「仕事と生活の調和の実現に関するアンケート」

1 調査目的

第2期えひめ・未来・子育てプラン（後期計画）（R2～R6 年度）の目標指標「仕事と生活の調和の実現が図られていると感じる人の割合」に関して、実現状況や必要な取組み等を把握する。

2 対象者及び調査方法

県内に居住する18歳～79歳の男女400人を対象としたインターネット調査

3 調査期間

令和6年10月22日（木）～10月28日（月）

4 概 要

(1) 仕事と生活の調和の実現状況や必要な取組みについて

○仕事と生活の調和が図られていると実感している人の割合

- ・全体：36.8%（前年度比-4.0%）で、昨年度から減少。
- ・男女別：男性42.6%、女性39.0%と、男性の方がやや高い。
- ・年齢別：50代が30.8%で最も低く、40代と60歳～79歳が39.2%で最も高い。
- ・地域別：東予37.1%、中予36.6%、南予34.8%と、東予がやや高い。

○仕事と生活の調和のために必要な施策（複数回答）

全体としては、「企業による仕事と生活の両立のための各種制度の導入促進」の割合が31.8%（400人中、127人が選択）で、最も高い。

○企業に行動変容を促すために必要な施策（複数回答）

全体としては、「経営者の意識啓発」の割合が52.3%（400人中、209人が選択）で、最も高い。

(2) 仕事や働き方について

○現在の就業状況

休日の平均的な家事・育児時間は、「2～3時間未満」と回答した人が19.9%（391人中78人）で、最も多く、平均3.16時間だった。

○現在の就業状況

勤め（常勤）が42.0%で、最も多い。

○労働時間

週の総労働時間（時間外労働含む）40～60時間が27.8%（400人中、111人選択）で最も多く、時間外労働については45.5%（400人中、182人選択）が1年前と比較して「変わらない」と回答。

○年次有給休暇

希望する日数が取得できているかについて、「希望する日数が取得できている」が24.5%（400人中、98人選択）で最も多い。

○妊娠・出産・子育てを契機とする仕事の形態の変化

第一子出産時期、末子出産時期ともに、「変わらない（又は産休・育児休業中）」が最も多い（第一子出産時期32.0%、末子出産時期29.0%）。（「（対象となる）子どもがいない」を除く。）

第一子出産時期の平均は1999年。末子出産時期の平均は2002年。

○育休等取得希望

- ・ 育休について、「取得したい」が40.8%で最も多い（400人中、163人選択）。
- ・ 取得を希望する場合、希望の期間について「1か月～3か月未満」と「6か月～12か月未満」がともに13.5%（163人中、22人選択）で最も多い。
- ・ 取得を希望しない理由として、「職場の人手が不足しているから（自分にしかできない業務がある、周りに迷惑がかかる）」が21.1%（57人中、12人選択）で最も多い。

○子育て支援の充実を実感している人の割合

26.3%（400人中、105人が選択）

「あまり感じない」が35.0%（400人中、140人が選択）で最も多い。

(3) えひめ結婚支援センター（ひめring）について

○えひめ結婚支援センター（ひめring）を知っている人の割合

19.8%（400人中、79人が選択）